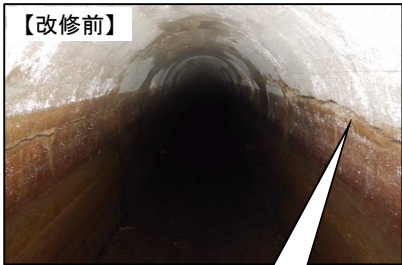
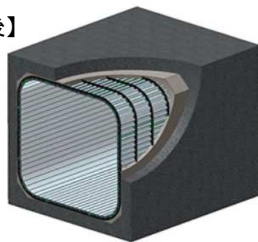




事業番号	09 06 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	農業農村の基盤整備事業	部局	農政部	課・室	農地整備課
		実施期間	S25 ~	E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性 再生可能エネルギー自給率				
総合的に展開する重点政策	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり			
	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見			
	2-2 地域内経済循環の促進	3-8 生活を支える地域交通の確保			
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	4-5 地球環境への貢献			

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 長寿命化計画に基づき、計画的な農業水利施設の補修・更新を進めるとともに、土地改良区等による適切な保全管理体制を整え、農業生産に不可欠な農業用水を安定供給する。 農業の収益性を高めるため、営農の省力化や高収益作物の導入を可能とする農地の条件整備を進めるとともに、担い手への農地集積・集約化を促進する。 中山間地域の特徴を活かした農業生産のための基盤整備と生活環境の整備を総合的に進め、農村の活性化を図る。 農業用水を活用した小水力発電の導入を進め、売電収益を施設管理費に充てることで、農業者の負担軽減を図るとともに、エネルギーの地産地消を進める。	
	【これまでの取組】 将来にわたり農業水利施設の機能を安定的に発揮するため、長寿命化計画に基づき、計画的に農業水利施設の長寿命化を実施。 高収益作物の導入や農地の集積・集約化を促進するため、農業者の費用負担が軽減できる補助事業を活用した農地の条件整備を実施。 中山間地域の特徴を克服し、地域の特徴を生かした農業生産体制と生活環境整備を実現するため、補助事業を活用して、ほ場整備や水路・農道整備を実施。 農業者の費用負担の軽減や施設の維持管理の省力化を促進するため、補助事業を活用し、農業用水を活用した小水力発電の導入を支援。	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) 現状分析	課 題	今後の方向性
	農業用水の安定供給に必要な農業水利施設は、昭和40年代に整備されたものが多く、老朽化が進行している。 農業者の減少や高齢化が進む中、傾斜地、狭小・不整形な農地などでは、担い手への農地集積が進まず、耕作放棄地の増加や農業生産活動の縮小が懸念される。 農業者だけでは、農業水利施設等の維持管理が困難になっている。	農業水利施設の機能診断に基づく機能保全計画を策定し、計画的に施設の長寿命化を実施する。 農地の区画拡大・平坦化、畑地かんがい施設の整備、排水改良など耕作条件の改善により、担い手への農地集積を促進する。 農業水利施設の役割や施設を守り活かしていくことの重要性を地域住民等に理解してもらうため、疏水等の農業資産を観光や学びに活用する取組を促進する。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	農業水利施設の長寿命化を計画的に進め、農業用水の安定供給と維持管理労力の節減を図る。特に、損壊により営農に与える影響が大きい重要構造物については、施設の状況に応じて重点的に対策を実施。 農業者の費用負担が軽減できる補助事業を活用し、ほ場の区画拡大、用排水路の暗渠化、ICTを活用した自動給水栓等の農地の条件整備を実施。 中山間地域において、現場条件が厳しく維持管理に多大な労力を要する農業水利施設の改修や、幅員が狭く営農や生活に支障のある農道・集落道の改良により、農業生産と農村集落の持続的な発展を図る。	
	施設が損壊した場合、農業用水の供給が不可能になる重要構造物	施設の補修・改修により、安定的に農業用水供給が可能
	【改修前】 	【改修後】 
	【劣化箇所】  ひび割れ・摩耗	【施工状況】 

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度	
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)		R3年度 目標値	事業 コスト	前年度繰越	3,236,675	5,407,043	要求 8,052,919	
1	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数(か所)	8	16	↑	30	↑		36	当初予算	9,468,110	8,422,277	予算案 8,262,709
2	農業生産コストを低減するためのほ場の区画拡大面積(ha)	58	111	↑	115	↑		154	補正予算	616,907	-2,352	
3	収益性を向上させる畑地かんがい施設の整備(新設・更新)面積(ha)	472	855	↑	1,642	↑		2,018	合計(A)	13,321,692	13,826,968	要求 8,052,919 予算案 8,262,709
4	農業用水を活用した小水力発電の設備容量(kW)	3,024	3,581	↑	3,650	↑		3,900	うち一般財源	868,756	1,033,958	要求 749,963 予算案 761,365
5	新たに観光資源として環境整備された疏水等の箇所数(か所)	6	10	↑	15	↑		20	決算額(B)	7,861,550		
									職員数(人)	87.90	73.04	77.54
成果指標 設定理由		<p>①農業用水を安定供給するため、更新整備や長寿命化が必要な重要構造物の整備箇所数を成果指標に設定した。</p> <p>②農業生産コストを低減するため、区画整理によりほ場を区画拡大する農地の面積を成果指標に設定した。</p> <p>③農業収益を向上させるため、高品質な農産物生産に必要な畑地かんがい施設を新設及び更新する面積を成果指標に設定した。</p> <p>④農業水利施設の維持管理に要する農業者負担を軽減するため、農業用水を活用した小水力発電の設備容量を成果指標に設定した。</p> <p>⑤疏水等を観光等に活用し、施設の役割や保全の重要性等への理解を促進するため、新たに観光資源として環境整備された疏水等の箇所数を成果指標に設定した。</p> <p>※第8次長野県土地改良長期計画の令和4年度目標値から算出</p>										
予算要求からの 主な変更点		農業農村の基盤整備事業について、農業水利施設の強靱化を加速化するため事業費を増額										

事業番号	09 06 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業農村の基盤整備事業		部局	農政部	課・室	農地整備課

細事業 No.	細事業名	R1年度 当初予算	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	
1	農業農村の基盤整備事業	9,468,110 千円	8,422,277 千円	要求 予算案	8,052,919 8,262,709 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	県営かんがい排水事業	直接	農業水利施設の更新（8地区） 農業水利施設の補修・補強（9地区） 農業水利施設の管理省力化（2地区）
2	県営畑地帯総合土地改良事業	直接	畑地かんがい施設の整備・更新、畑地の区画整理（12地区）
3	経営体育成基盤整備事業	直接	水田の区画整理、用排水路・農道の整備（9地区）
4	県営農道整備事業	直接	農道橋の耐震化、安全施設の整備（4地区）
5	県営中山間総合整備事業	直接	中山間地域における農業生産基盤と農村生活環境の整備（12地区）
6	団体営土地改良事業	補助金	小水力発電施設設置への支援（2地区） 農業水利施設の改修への支援（38地区） 農業水利施設や農道の改修等への支援（1地区） 農地中間管理事業の重点実施区域での農業水利施設や農道の改修等への支援（26地区）
7	県単農業農村整備事業	補助金	土地改良区等が行う農業水利施設等の整備への支援（50地区）
8	農村地域整備基礎調査事業	直接	農業農村整備事業の計画策定等に必要の基礎資料の収集整理（整備実績等の調査）
9	中山間地域土地改良施設 保全管理適正化事業	直接	中山間地域の土地改良施設を保全管理する市町村・土地改良区を対象に会議・研修会を開催
10	信州の農業資産魅力発信 事業	直接	農業資産の魅力を観光や地域学習に活用するための案内人養成研修会を開催 棚田の持続的な管理・運営体制の構築と情報発信の強化 ため池の幅広い役割や魅力を発信する全国ため池フォーラムの開催
11	ふるさと信州棚田支援事業	補助金	棚田地域における土地改良施設や農地の保全整備等を行う地域住民活動への支援